



TCA
—NEWS—

Vol.29 夏号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (076)442-1109 FAX (076)442-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



イグアスの滝

「悪魔の喉笛」で知られる

イグアスの滝

イグアスの滝は、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイの国境にまたがる大小300の滝からなります。

イグアスの名は、先住民であるグアラニー族の言葉に由来し、“Igu”は“水”を“Azu”は壮大なものへの驚嘆の意味です。ハイライトの「悪魔の喉笛」は、アルゼンチン側にあるイグアス最大の滝で、ブラジル側にすさまじい勢いで流れ落ち、水しぶきが一面にたちこめています。

写真提供は、ブラジル モジ ダス クルーゼス市
ロベルタ クラジエラ クレッシンテ メンデスさん
富山県技術研修員として来日（平成10年6月から平成11年3月）

会員募集

広げよう友情の輪

と き 平成12年 5月10日
ところ 富山国際会議場

役員体制の充実 “より円滑な運営をめざす”

- 平成12年度富山市民国際交流協会総会は、会員100余名が出席し開催されました。
- 富山市長をはじめ来賓のご出席をいただき、会長のあいさつの後、総会次第により議事が進められ平成11年度事業報告、決算報告、平成12年度事業計画、収支予算が承認されました。
- 記念講演「地域国際化とボランティア」を聴いた後、交流レセプションで会員相互の親睦を深めました。



あいさつ

富山市民国際交流協会
会長 久保田 照雄

当協会は、平成5年に設立され、本年は8年目を迎えておりますが、協会の組織、事業などマンネリ化した部分も見受けられます。

この総会では、組織面において、実際の運営を円滑にするために、専門委員会の組織や専門委員長の方々に理事になっていただくための改正案を提案しております。

また、協会の会員数は約700名であります、近年の状況から法人会員が減少しており、新たな会員の増加策が必要と考えております。

さて、富山市在住外国人は2,900余人と増加しておりますが、当協会といたしましては、「市民一人一人が主人公の国際交流」を今後とも進めてまいりたいと考えており、そのため、事業につきましても、より市民の立場に立った事業の実施に努めたいと考えております。

記念講演

「地域国際化とボランティア」

多文化共生センター

代表 田村 太郎氏



*いま地球と地域で起こっていること

経済活動のグローバル化に伴い、都市部へ人口が集中したり、国境を超えて多くの人々が移動している。現在約200

万人の外国人がこの日本で暮らしており、その多くはこれまでアジア地域の人々の「単身、短期的」滞在であったが、近年は南米・中国からの「家族を伴った定住型」が増えている。このようなことから今後は、ひとつの地域に多様な文化を持つ人々が我々日本人と一緒に暮らすようになると考えられる。

*日本で暮らす外国人が抱える課題

ところで、英語圏以外の多言語、多文化をもった外国人に対して、我々日本人はつい偏見を持ってしまいうし、こうした中で、長期的に暮らすようになると彼らは、ことばの壁、制度の壁、心の壁など様々な障害にぶつかるようになる。

*多文化共生のためのボランティア活動をするには

このような現状を踏まえ「私たちはどう活動したらよいのか」を考えてみたい。まず、大切なのは健康や医療、社会保障や教育の権利はすべての人が人として生きるための基本原理であることを認識することである。そして、日本や富山に住む外国人がおかれている環境を理解することである。

その上に立って、基本的人権の尊重、マイノリティ、社会制度の変革へのアプローチが、地域国際化、多文化社会での人々の共生を可能にしていけるのではないだろうか。

多文化共生センターとは

1995年1月17日の阪神・淡路大震災では、被災地に暮らしていた約8万人の外国人もまた大きな被害を受けました。言葉や習慣、制度のちがいなどから、日本人とはまた異なる困難に直面した外国人被災者が多く存在しました。こうした外国人被災者への支援活動を通じて「多様でない社会」の危うさを感じたボランティアの手により、多文化共生センターは1995年10月、国籍や言葉、文化、習慣などの違いを認めあい、互いに尊重しあう「多文化共生社会」の実現をめざして発足したボランティア団体です。

こんな活動をしています

●多言語ホットライン ●医療・保健プロジェクト ●エスニックメディア支援プロジェクト ●子どもプロジェクト ●ことばの会 ●調査研究 ●人材育成

総 会 議 事

◆議案第 1 号 平成11年度事業報告

- ・国際交流フェスティバル'99
 - ・新春国際交流のつどい2000
 - ・各専門委員会の事業
- などを報告

◆議案第 2 号 平成11年度決算報告

収 入 (単位: 円)				
科 目	当初予算額	収入済額	増 △ 減	備 考
1 会 費 収 入	2,685,000	2,671,475	△ 13,525	
1 個 人 会 費	1,635,000	1,682,580	47,580	551名 561口
2 団 体 ・ 法 人 会 費	1,050,000	988,895	△ 61,105	63団体・企業 99口
2 事 業 費 収 入	792,000	834,500	42,500	
1 総 会 懇 親 会 費	210,000	198,000	△ 12,000	3,000円×66名
2 2000年新春国際交流のつどい参加費	180,000	160,500	△ 19,500	外国人48名、日本人57名分
3 日本語講座受講料	100,000	137,000	37,000	5,000円×28名
4 中国語講座受講料	112,000	88,000	△ 24,000	4,000円×22名
5 ハングル講座受講料	40,000	79,000	39,000	4,000円×20名
6 翻 訳 手 数 料	150,000	172,000	22,000	
3 補 助 金 収 入	7,399,000	7,239,407	△159,593	
1 事 業 補 助 金	3,391,000	3,391,000	0	
2 外国人相談業務補助金	4,008,000	3,848,407	△159,593	給与基準変更(期末手当減額)等による
4 受 託 料 収 入	842,000	750,459	△ 91,541	
1 富山市受託料	842,000	750,459	△ 91,541	夜間等管理業務受託料
5 寄 付 金	10,000	10,000	0	
1 寄 付 金	10,000	10,000	0	
6 雑 収 入	270,000	294,410	24,410	
1 雑 収 入	270,000	294,410	24,410	自動販売機手数料、預金利子
7 繰 越 金	29,000	29,447	447	
1 繰 越 金	29,000	29,447	447	
合 計	12,027,000	11,829,698	△197,302	

支 出 (単位: 円)				
科 目	当初予算額	支出済額	増 △ 減	備 考
1 管 理 費	6,553,000	6,450,598	△102,402	
1 会 議 費	530,000	486,860	△ 43,140	総会、理事会等
2 人 件 費	4,883,000	4,563,374	△319,626	職員 3 名
3 需 用 費	1,140,000	1,400,364	260,364	消耗品、印刷費、旅費、通信費、備品等
2 事 業 費	5,438,000	5,329,927	△108,073	
1 委員会合同事業	1,360,000	1,452,444	92,444	国際交流フェスティバル、新春のつどい
2 総務企画事業	570,000	505,265	△ 64,735	国際フェア、国内研修、カレッジ等
3 姉妹友好都市交流事業	850,000	682,918	△167,082	海外研修、奨学金、訪問団歓迎会
4 地域交流事業	255,000	249,995	△ 5,005	日本伝統文化紹介、おわら囃子等
5 ボランティア事業	104,000	102,041	△ 1,959	養成講座、お嫁さん交流会、本送料等
6 広 報 事 業	1,000,000	997,286	△ 2,714	広報印刷・郵送料等 (4回分)
7 国際教養事業	355,000	320,478	△ 34,522	語学教養講座、JET青年との交流等
8 語学講座事業	944,000	1,019,500	75,500	日本、中国、ハングル、日本語学習支援
3 予 備 費	36,000	0	△ 36,000	
1 予 備 費	36,000	0	△ 36,000	
合 計	12,027,000	11,780,525	△246,475	

収入済額 11,829,698 円ー支出済額 11,780,525 円＝残額 49,173 円 (翌年度繰越金)

監 査 報 告 書

平成11年度富山市民国際交流協会の決算について監査したところ、正確に処理されており、決算諸表、会計帳簿等も適正であると認めました。

平成12年4月14日

監 事 中 田 義 一 ㊞
監 事 小 川 し げ み ㊞

◆議案第 3 号 平成12年度事業計画

委員会合同事業

- ・国際交流フェスティバル2000
(とやま国際センター、国際協力事業団北陸支部と共催)
と き 11月11日(土)～12日(日)
と ころ 富山市民プラザ・大手モール
- ・2001年新春国際交流のつどい

総務企画委員会

- ・国内研修
- ・国際交流研修会等への参加
- ・国際交流T C A カレッジ開催
- ・とやま国際フェアへの出展

姉妹友好都市委員会

- ・海外研修
- ・姉妹友好都市等の訪問団との交流会
- ・友好親善奨学金の支給 (秦皇島市)

文化交流委員会

- ・日本伝統文化の紹介
- ・もっと知ろう世界の街 (外国文化を訪ねる)
- ・音楽やスポーツ等を通じての交流

ボランティア委員会

- ・ボランティア養成講座
- ・ホームステイ、ホームビジットの受け入れ等
- ・外国人お嫁さん交流会
- ・ボランティア支援事業の協力

広報委員会

- ・広報誌「T C A - N E W S」の発行
(4・7・10・1月一年4回)
- ・パンフレット改訂・作成

国際教養委員会

- ・国際教養合同講座
(各講座受講者合同研修会)
- ・一般研修講座 (5 講座12教室)
「海外視察・教養語学講座」
「日本文化理解講座」
「国際教養専門講座」
「中国語講座」
「ロシア語講座」
- ・多国言語文化交流サークル
- ・集中講座 (日本語短期集中講座・中国語会話)
- ・外国人訪問団来富、行事等における通訳・ガイド
- ・J E T 青年との近郊の名所探訪・親善の集い
- ・国際教養サロンクラブ

語学講座事業

- ・日本語講座、中国語講座、ハングル講座
- ・ボランティアによる日本語学習支援事業

その他

- ・外国人の相談業務
- ・翻訳、通訳
- ・交流事業への支援 (紹介、派遣、資料提供等)

◆議案第4号 平成12年度収支予算

収 入 (単位：千円)				
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	説 明
1. 会 費 収 入	2,685	2,685	0	
1. 個 人 会 費	1,635	1,635	0	3,000円×545口 535名
2. 法人・団体会費	1,050	1,050	0	10,000円×105口 69団体・企業
2. 事 業 収 入	825	792	33	
1. 総会懇親会参加費	210	210	0	3,000円×70人
2. 新春国際交流の つどい参加費	180	180	0	1,500円×120人
3. 日本語講座受講料	110	100	10	5,000円×22人
4. 中国語講座受講料	125	112	13	5,000円×25人
5. ハングル講座受講料	50	40	10	5,000円×10人
6. 翻 訳 手 数 料	150	150	0	
3. 補助金収入	9,893	7,399	2,494	
1. 事 業 補 助 金	3,391	3,391	0	富山市事業補助金
2. 外国人相談業務補助金	6,502	4,008	2,494	外国人相談業務（職員3名分）
4. 受託料収入	846	842	4	
1. 富山市受託料	846	842	4	夜間等管理業務受託料
5. 寄 付 金	10	10	0	
1. 寄 付 金	10	10	0	
6. 雑 収 入	250	270	△20	
1. 雑 収 入	250	270	△20	自動販売機手数料、預金利子
7. 繰 越 金	49	29	20	
1. 繰 越 金	49	29	20	
収 入 合 計	14,558	12,027	2,531	

支 出 (単位：千円)				
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	説 明
1. 管 理 費	8,910	6,553	2,357	
1. 会 議 費	530	530	0	総会費 470,000円 会場借上料 80,000円 講師謝礼等 40,000円 懇親会費 350,000円 理事会諸費 40,000円 専門委員会諸費 20,000円
2. 人 件 費	7,307	4,883	2,424	外国人相談員（常勤2名、非常勤1名） 給料・賞金・社会保険料 5,502,000円 夜間等業務員（非常勤1名） 賞金・労災保険料 805,000円
3. 管 理 諸 費	1,073	1,140	△67	消耗品費（コピー代等） 250,000円 印刷製本費 233,000円 食 料 費 90,000円 通信運搬費（郵便料等） 200,000円 旅 費 70,000円 新聞、図書購入費 180,000円 負担金（北陸都市国際交流連絡会他） 35,000円 雑 費 15,000円 合 計 1,073,000円
2. 事 業 費	5,598	5,438	160	
1. 合 同 事 業 費	1,360	1,360	0	国際交流フェスティバル2000開催負担金 1,000,000円 新春国際交流のつどい開催費（120人参加） 360,000円
2. 総務企画事業費	570	570	0	国内研修助成費（1泊2日） 10,000円×20人＝200,000円 国際交流関係研修会参加費（2回） 80,000円 国際交流TCAカレッジ開催費（講師謝礼等） 40,000円 とやま国際フェアー出展費 250,000円 合 計 570,000円
3. 姉妹友好都市交流事業費	850	850	0	海外友好訪問助成費 参加予定25名 姉妹友好都市訪問団歓迎会費 150,000円 泰島島市友好親善奨学金 100,000円 合 計 850,000円
4. 文化交流事業費	271	255	16	日本伝統文化紹介 125,000円 ・日本舞踊 18,000円 ・おわら節（講師謝礼等） 11,000円 ・富山まつり参加諸費（夜食等） 8,000円 ・茶 道（謝礼、材料費等） 35,000円 ・華 道（謝礼、材料費等） 33,000円 ・カルタ大会（材料費等） 20,000円 音楽、スポーツ等の交流 53,000円 （謝礼、借上料、材料費等） 地図で歩く世界の旅 16,000円 （2回、講師謝礼、資料等） 諸経費（郵便料、洗濯代等） 77,000円

以上 平成12年度富山市民国際交流協会総会要旨。
なお、総会の資料は協会事務局にあります。

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	説 明
5. ボランティア事業費	104	104	0	ボランティア養成講座 講師謝礼等 7,000円×4回＝28,000円 外国人お嫁さん交流会開催諸費 60,000円 ボランティア支援事業諸費 16,000円 合 計 104,000円
6. 広 報 事 業 費	1,010	1,000	10	広報紙（TCA-NEWS）発行費 ・印刷費 185,000円×4回＝740,000円 ・発行諸費（郵送料、取材諸費） 67,500円×4回＝270,000円 合 計 1,010,000円
7. 国際教養事業費	423	355	68	講師謝礼等 ・国際教養合同講座（1回） 10,000円 ・I S A （2回） 20,000円 ・ロシア語講座（交通費） 2,000円×10回＝20,000円 ・中国語講座 2,000円×24回×3人＝144,000円 ・一般講座 3,000円×25回＝75,000円 小 計 269,000円 JET青年との近郊探訪交流（外国人15人） ・貸切バス代 60,000円 ・昼食・入場料等 30,000円 国際教養サロンクラブ開催費（講師謝礼） 3,000円×8回＝24,000円 8,000円×2回＝16,000円 資料作成・消耗品等（12教室分） 24,000円
8. 語学講座事業費	1,010	944	66	講師謝礼等 ・日本語講座 5,000円×36回×2クラス＝360,000円 ・中国語講座 7,000円×35回＝245,000円 ・ハンガリー語講座 7,000円×35回＝245,000円 ・日本語学習支援事業（ボランティア交通費） 500円×40回×8人＝160,000円 合 計 1,010,000円
3. 予 備 費	50	36	14	
1. 予 備 費	50	36	14	
支 出 合 計	14,558	12,027	2,531	

◆議案第5号 規約の改正

理事並びに専門委員会の役員関係等の改正について次のとおり議決された。

1. 理事を25人以内から30人以内とする。
2. 専門委員会の設置は理事会の承認事項とする。
3. 専門委員会の役員は委員長及び副委員長とし、その任期は協会役員（2年）に準ずるものとする。
4. 専門委員会の委員長は理事を兼ねるものとする。また、会員からの提案により、家族会員を新設し、会費を5,000円とすることが議決された。

◆富山市民国際交流協会役員名簿

役職名	氏 名	所 属 団 体 等	備考(担当等)
会 長	久保田 照 雄	富山商工会議所顧問・北陸銀行相談役	
副会長	西 田 東 作	富山県中小企業団体中央会会長	
〃	水 口 昭一郎	富山市民の翼の会長・立山科学工業㈱取締役社長	
〃	吉 友 嘉久子	第1回富山市婦人海外派遣団団長	
理 事	大 崎 和 紀	富士メリヤス㈱取締役社長	
〃	小 川 弘	北陸経済研究所前顧問	
〃	奥 井 健	富山冷蔵㈱取締役社長	
〃	黒 崎 泰 幸	富山市翼の会会長	
〃	高 沢 規 子	富山商工会議所婦人会会長	北陸プレート製作所会長
〃	西 野 尚 典	㈱不二越 総務部長	
〃	新 田 八 朗	日本海ガス㈱取締役社長	
〃	小 又 幸 進	北陸電力㈱取締役富山支店長	
〃	能登谷 久 公	富山県留学生等交流推進会議運営委員長	富山大学学生部長
〃	橋 本 敏 宏	日産販売富山市民の翼の会長・サクラバックス㈱取締役社長	
〃	服 部 邦 紘	富山市中学校長会会長	堀川中学校長
〃	堀 江 耕 一	堀江硝子㈱取締役社長	
〃	岡 崎 稔	富山商工会議所青年部長	リスキマエジナント社長
〃	中 川 敏 之	富山市美術作家連合会事務局長	
〃	大 泉 美 登子	富山市女性団体等連絡協議会会長	
〃	横 田 茂	富山県青年海外協力隊を育てる会会長	シー・エー・ビー会長
〃	福 田 好 美	ウイメンズ・ウイング・トヤマ会長	
〃	牧 野 新 一	総務企画委員長	
〃	窪 田 菊次郎	姉妹友好都市委員長	
〃	佐 伯 信 義	文化交流委員長	
〃	小 池 和 子	ボランティア委員長	
〃	岡 田 昌 代	広報委員長	
〃	舟 山 保	国際教養委員長	
監 事	小 川 しげみ	富山YMCA常議員	
〃	中 田 義 一	富山市社会福祉協議会前専務理事	
参 与	松 岡 一	富山市民国際交流協会元事務局長	
〃	小 川 光 夫	富山市民国際交流協会前事務局長	

委員会報告

新講座 多国言語文化交流サークル

第1回 エジプト・アラビア語



講師

アテフ アブドウル
モネム 氏
富山医科薬科大学
和漢薬研究所

6月3日
当センター

富山市には、約53カ国 3,000人、富山県には、約64カ国 8,700人の外国の人たちが生活しています。

そこで、富山在住の外国の方々をお招きして、いろいろな言葉と文化を学んでみようとの講座をスタートしました。

アラビア語で話されている地域は？（約21カ国）
アラビア文字、アラビア語の特徴は？（右から左へ書く、28文字、記号を加えることにより発音が異なる）アラビア語で話してみよう等レジメに沿って講義が進められ、最後に、宗教は？アラビア数字について？などたくさんの質疑応答で時間を超過してしまいました。

国際教養委員会

日本伝統文化の紹介



日本舞踊

講師

花柳源香 氏

6月4日
当センター

ケニヤ、中国ほか富山在住の外国の人たち30数名が参加しました。皆、それぞれ着物を着ておおよそこびでした。はじめに、小学校2年生のお弟子さん達による「十五夜お月さん」と「めだかの学校」の可愛い模範演技を見た後、手話舞踊の「とうりゃんせ」を習いました。「とうりゃんせ」の曲に合わせ、歌詞を手話で表現しながら踊りました。

文化交流委員会

ダーラム市親善訪問団歓迎会



5月20日
富山市民プラザ

富山市を訪問中のニコラス・J・テニソン市長を団長とするダーラム市親善訪問団一行8人を迎えてダーラム市親善訪問団歓迎会を開催いたしました。

1994年に当協会がダーラム市を親善訪問した際に大変お世話になったダーラム市姉妹都市委員会富山委員会のメイビス・メイヤーさんやドロシー・ボードンさん等と再会して大きな歓声が上がりました。

また、ダーラム市を訪問した時の感動の思い出を歌に託して作られた「心の絆」の発表もありました。

姉妹友好都市委員会

外国人お嫁さん交流会

日本の男性と結婚した人、家族で富山に生活している人など、外国のお嫁さん達に日本の生活習慣、文化、食生活などを紹介したり、また、いろいろな悩みや相談を通して交流しております。



講師

中川佳子 氏

6月23日
当センター

「しおり」づくり

庭や道のふちに咲く花を摘んで和紙に挟んで乾燥させて、そして押し花にして…と。

講師から指導を受けながら少しずつ仕上っていくのでみんな真剣そのものです。自分で作った「しおり」を手にとってもうれしそうでした。

ボランティア委員会

お知らせひろば

参加者募集中！

富山在住の外国人の皆さんと一緒に味わって踊りませんか？

◇富山まつりおわら踊り

とき 8月5日

ところ 城址大通り

※当センターに17:30分までに集合して下さい。

会員のみなさんへ〈会費納入〉のお願い 会費1口 個人3,000円 家族5,000円 法人・団体10,000円

○納入方法 ①当協会窓口 ②振込 北陸銀行市役所出張所 口座「富山市民国際交流協会」普通預金 No.4076440

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 442-1109 FAX 442-3807

ホストファミリー募集

事業名：JICA 21世紀のための友情計画
受入国：アセアン混成（インドネシア・マレーシア・フィリピン・タイ・ベトナム）
公共・公益事業（通信）青年 22名
滞在期間：平成12年9月6日(木)～9月13日(木)
民泊期間：9月8日(金) 18:30 引き渡し
10日(日) 17:00 ホテルへ（2泊3日）

星日文化協会 来富！

林少彬シンガポール日本文化協会副会長を団長とするシンガポール日本文化協会第9回日本親善使節団一行29名は、富山市役所を表敬訪問し、そのあとWWT（ウイメンズ ウイング トヤマ）のメンバーと農業センターや能楽堂を見学し、茶道などで交流しました。また、「歓迎交流会」を催し、マジックや合唱などでたのしく交流し友好を深めました。



5月15日 とやま自遊館

「富山県モンゴル友好親善協会」設立



5月11日 名鉄トヤマホテル

富山県とモンゴル国との友好の懸け橋となり、交流と親善の促進を担うことを目的に協会が発足されました。

設立総会では、会長に八嶋健三氏（県商工会議所連合会長）が選ばれ、今年度事業としてモンゴル

友好訪問団派遣などを決めました。

また、大雪害のモンゴルに愛の手を…。と「モンゴル寒冷雪害救援運動」を全国に先がけて展開した富山県本部へモンゴル国から感謝状が贈られました。



「秦皇島—富山 市民交流学校」建設



富山市「北載河之会」友人来訪留舎 2000.5.4

秦皇島市と友好交流を進めている

「北載河の会」は、「迎秋里実験学校」の竣工式に招かれて5月2日から8

日まで秦皇島市を訪問しました。秦皇島市表敬訪問の席上で内山恵美子会長から劉 朔全副市長へ「一点之螢明……」と学校建設資金を手渡しました。学校へ向かうと横断幕に、そして、校舎の外壁に「秦皇島—富山 市民交流学校」と赤い字



で印され、校舎の前には2000余名の生徒たちが整列して迎えてくれ、式典やアトラクシ

ョンが行なわれました。「北載河の会」の20名の仲間たちは、何年も前から学校建設に役立ちたいと心からの積金をしてこの喜びの完成と成りました。帰り際には、ちぎれんばかりに手を振る子供たちに見送られ、会員たちは、感動で胸がふるえました。

社会見学と日本語学習

当協会のボランティア日本語クラスは、北日本新聞社へ見学に行きました。印刷室では目にも止まらぬ早さで次々と新聞が出来上がる様子に、みんなは



5月31日 北日本新聞社

息をのみました。日本語で質問をしたり看板を読んだり教室を飛び出して楽しく勉強しました。日本語の学習と共に日本の文化に親しみ理解を深めるよい機会となりました。

平成12年度行事予定

月	時期	行 事 名	場 所	担当委員会等
6	4	日 本 舞 踊	富山市国際交流センター	文化交流
	23	お嫁さん交流会(しおりづくり)	〃	ボランティア
	30~7/2	とやま国際フェア出展	テクノホール	総務企画
7	6	お嫁さん交流会(料理教室)	エ ル フ	ボランティア
	9	おわら踊り	富山市国際交流センター	文化交流
	21	お嫁さん交流会(着付け教室)	富山市国際交流センター	ボランティア
8	5	富山まつりおわら踊り参加	城 址 大通り	文化交流
9	3	華 道	富山市国際交流センター	文化交流
	21	お嫁さん交流会(料理教室)	エ ル フ	ボランティア
	23	JET青年との近郊名所探訪	富 山 市 内	国際教養
10	8	茶 道	県 知 事 公 舎	文化交流
11	5	もっと知ろう世界の街	富山市国際交流センター	〃
	11~12	国際交流フェスティバル2000	富山市民プラザ	合 同
	未 定	お嫁さん交流会(料理教室)	エ ル フ	ボランティア
	22~23	国内研修(浦安市国際交流協会)	千葉県浦安市	総務企画
12	未 定	みんなで歌おう	富山市国際交流センター	文化交流
	未 定	お嫁さん交流会(年忘れパーティ)	〃	ボランティア
1	21	かるた大会	富山市国際交流センター	文化交流
	未 定	ボランティア講座	〃	ボランティア
2	初 旬	新春国際交流のつどい2001	C i C	合 同
	11	もっと知ろう世界の街	富山市国際交流センター	文化交流
	8~12	海外友好訪問「ハワイ」	現 地	姉妹交友都市
	下 旬	国際交流カレッジ	富山市国際交流センター	総務企画
	下 旬	お嫁さん交流会(お菓子づくり)	エ ル フ	ボランティア
3	10	風船バレーボール大会	富山市総合体育館	文化交流

編集後記

「シュ克蘭(ありがとう)」「マアッサラーマ(さようなら)」今、倣い立てのエジプト・アラビア語であいさつをしてみんな帰っていきましました。「アテフさん ありがとうございます。」と、お礼を言うと「ボランティア、お役に立ててうれしい。みんなにアラビイ(アラビア語)のことなどを知ってもらってほしい。」と言いました。

今年度から新しく「多言語文化・文化交流サークル」を開講するにあたって私も手伝いさせていただき、新講座をどういう形で進めるか何度も打合せをしました。アテフさんは「すごく忙しい」と言いながら夜だったり日曜日だったり時間を見つけて交流センターへ足を運んで下さり、おかげさまで開講することができました。一生懸命なアテフさんと越野さんのスバライシ通訳で楽しく学びながら交流することができました。そして、ステキな奥様ラージャさんとワリッド君とアヤちゃんは、交流センターを訪れる人たちと楽しく交流しながらパパのお仕事の終わるのを待っていました。

これからは、ますます国際化が進み、世界中で様々な文化を持つ人々との共生が必要となる時代になって行くことでしょう。

広報委員長 岡田昌代